

平成元年

豊栄市十大ニュース

今年の豊栄は

こんな年でした

今年もあとわずか。平成時代の幕開けの年も終わろうとしています。そこで、今年を振り返り、市内の出来事を十大ニュースにまとめてみました。ニュースの選定にあたっては、市民のみなさん二百人にアンケートをお願いし、取りまとめたものです。

○豊栄北部工業団地完成 (三月二十七日)

総面積二十二・九ヘクタール、工業用地約十八ヘクタールの、豊栄北部工業団地がしゅん工しました。進出企業五十五社と二月二十七日分譲契約を終え、現在二十社が操業を始めています。



○ベンチャーズ豊栄公演(6月15日)

ザ・ベンチャーズ結成30周年豊栄公演が、総合体育館において行われました。この公演は、10月10日に行われた「鳥よせ祭」のPRとして鳥よせ祭実行委員会(委員長 並川一栄)が、主催したものです。

エレキギターブームを呼んだバンドの生演奏を聴こうと、会場には約2,000人が詰め掛けました。



○「豊栄」東京の会 (二月十九日)

昭和六十二年秋、豊栄市出身の有志が集まり「ふるさとを気楽に語る会をつくろう」と、首都圏在住豊栄市出身者に呼び掛け、今年二月の発会となりました。都内で開かれた設立総会には百十一名が参加し、会長に坂井正久さん(上月出身)が選ばれました。



○健康まつり開催 (十月十五・十六日)

これは、市が市民の皆さんから健康に関心を持ってもらうために中央公民館で開催したものです。林家木久蔵師匠の講演会、健康相談、体験発表等が行われました。



○木崎中学校しゅん工(10月21日)

昨年の2月23日、火災のため焼失した木崎中学校校舎が新しく建てられ、新校舎で授業が開始されました。

新校舎は、鉄筋コンクリート3階建て、校舎面積4,411.65平方メートルの近代的な建物で、総工費8億5千万円余りをかけ建てられました。



○オニバスの花が 養殖池で咲く(7月下旬)

絶滅したと思われていたオニバスが、昨年8月福島潟のしゅんせつ工事中に見付かりました。豊栄のオニバスは日本の北限で、たいへん貴重な植物です。市では保存のため養殖池を造り、4月26日1,500個余りの種をまきました。

その種が芽を出し、みごと花を咲かせました。



○全国マスターズ卓球大会が 豊栄で開催(九月九・十日)

日本卓球協会主催の第二回全国マスターズ卓球大会が、総合体育館で開催されました。この大会は四十歳以上であればだれでも参加でき、勝つことよりもプレーすることを楽しむというもの。全国から四百人の選手が集まりました。



○新新バイパス全線開通 (九月十六日)

一般国道七号線(新新バイパス)が、十六年日にしてようやく全線開通しました。

今回開通したところは、東港インターから新発田市までの間で、一部、暫定二車線供用となっています。



○葛塚大橋開通(11月8日)

市民の待ち望んだ葛塚中央線の新井郷川に架かる葛塚大橋が、開通しました。この橋は、他門大橋の交通量緩和と隣接道路のバイパス的効果を期待し、架けられました。また、この工事では、橋につながる延長172メートルの道路について、拡幅、歩道設置等の整備も行いました。

